



山崎泰昌議員

学校給食

デリバリー給食サービスの研究結果

釜石の状況を見守り更に研究

質問 第2回定例会で質問した「デリバリーサービス給食」についての研究結果は。

松尾教育長

釜石市では、中学校ランチサービスを平成19年5月から実施している。担当者の話では、事業の効果は実施して日も浅く、これからの推移を見たいとのことであった。町として

もその状況を見守り、さらに研究したい。

質問 私の知っている父兄の約7割は給食を望んでいる。住民の意見を尊重し給食を実施すべきでは。

澁谷教育次長 教育委員会に対して父兄や学校の公式の場での要請はない。また、施設の建設には多額の費用が必要となる。給食を

町の考えを聞く

財務行政

新たな財源を得る計画は

徹底した行政改革と堅実な財政運営

望む声もあるが、一方では弁当を持たせたいという父兄もあることは事実。このことから、釜石市で行って

いる給食の選択制度を活用できないか研究したいということである。

質問 給食実施に向け研究すると受け取ってよいか。

澁谷教育次長 考えを方向転換するというのではない。基本的には現状のとおりにいきたい。将来に向け研究・検討しなければならぬという立場である。

質問 行政サービスを維持・向上させるため必要な財源確保に努力するとのことだが、税収以外の町独自の財源は何かあるか。

沼崎町長 使用料及び手数料、財産収入、各種基金などからの繰入金、前年度からの繰越金などがある。

質問 新たな財源を得ようとする計画があるか。

沼崎町長 財産収入として町有財産の有効処分を考

えている。徹底した行政改革と堅実な財政運営が重要

であり、引き続き財政基盤の充実に努める。

質問 行政改革（集中改革プラン）では、公の施設の使用料を受益者負担を基本に原則有料にするところだが、どのような内容か。

横田総務課長 町の集会所施設は使用料を徴収することになっていくが、免除規定に基づき無料としている

のが実態である。このことから検討委員会を開き見直しの協議・検討中である。



唯一学校給食が実施されている大浦小学校